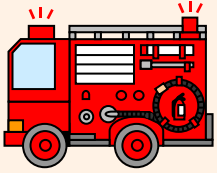


おこっぺしょうぼう



119



平成23年10月発行 No. 7

発行：紋別地区消防組合消防署興部支署

〒098-1607 興部町旭町

TEL 0158-82-2136 FAX 0158-82-2400

✉ syoubou@town.okoppe.lg.jp

～住宅用火災警報器を設置しましょう～



9/10 おこっぺ^{まちなか}街中マルシェ 『消防広場』

※3ページ目にも、おこっぺ街中(まちなか)マルシェ『消防広場』の写真を掲載しております。

主な内容

- 表紙 おこっぺ街中(まちなか)マルシェ『消防広場』
- “秋の火災予防運動”実施中です！
- つけましたか？住宅用火災警報器
- おこっぺ街中マルシェ・消防広場（写真）
- セルフ式ガソリンスタンドを安全に利用するために
- 消防ほっと写真館



平成23年度 全国統一防火標語

消したはず
決めつけしないで
もう一度

"秋の火災予防運動" 実施中です!



この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、皆さんに防火に対する意識をより一層高めていただき、火災の発生を防ぐことを目的に行っております。これからの季節は火気を使用する機会が多くなります。火気の取り扱いには十分ご注意ください。

火災予防運動期間中(10月15日~31日)の主な行事

1. **車両広報**
2. **防火パレード** (興部、沙留、宇津の各地区において実施します)
3. **防火映画会** (幼稚園、保育所において実施します)
4. **一般家庭防火訪問** (予定地区: 新泉町、緑ヶ丘、秋里、豊野、住吉、沙留港町、沙留元町)
5. **高齢者夫婦世帯防火訪問**
(※75歳以上の夫婦世帯の方々を対象とし、消防職員と女性消防団員の2名でお伺いします)



"住宅防火" 命を守る3つのポイント

ストーブのまわりに燃えやすい物が
ないかの確認を!



寝たばこは絶対にやめましょう!



コンロのそばを離れるときは
必ず火を消しましょう!

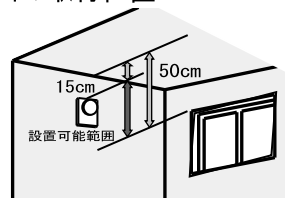


つけましたか? "住宅用火災警報器"

- ◎設置が義務付けられる部屋は **普段就寝している部屋** です。
- ◎寝室が2階にある場合には **階段踊場** にも必要です。
- ◎寝室や階段には **煙感知式** のものを設置してください。
- ◎取付位置は、天井または壁面です。
※来客時だけなど、寝室としての使用が少ない部屋の設置義務はありません。

〈壁面の取付位置〉

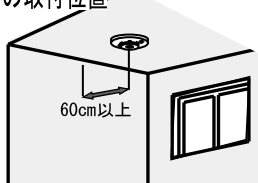
天井から15~50cm以内に火災警報器の中心がくるように取り付けます。



〈天井の取付位置〉

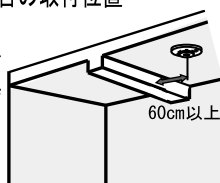
▼通常の壁面からの取付位置

火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。



▼梁などがある場合の取付位置

火災警報器の中心を梁から60cm以上離します。



▼エアコンなどの吹き出し口付近の取付位置

換気扇やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離します。



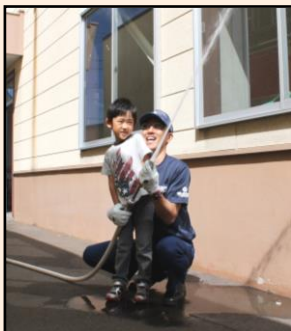
※住宅用火災警報器のことでご不明な点がございましたら、興部支署・予防係までお問い合わせください。



まちなか おこっぺ街中マルシェ 『消防広場』



9月10日、『おこっぺ街中(まちなか)マルシェ』が開催され、興部支署は興部消防会館前において、消防車の展示・体験乗車、水消火器を使用した消火体験、放水体験などを行いました。子供から大人までたくさんの方に来場していただきました。





セルフ式ガソリンスタンドを安全に利用するために

ドライバーの皆さんが自分で給油をするセルフ式ガソリンスタンドは、町内や近隣の市町村にも設置され、身近な存在となっています。

しかし、ガソリンや軽油はその取扱方法を誤ると大きな事故につながりかねません。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するドライバーの皆さんも、次の事項に十分注意して安全な給油作業に心がけましょう。

☆エンジン OFF！

白線などで示された場所に停止し、必ずエンジンを停止しましょう。

☆静電気除去シートにタッチ！

静電気の火花が原因で、給油口から出てくるガソリン蒸気に引火する事故が発生するおそれがあります。給油キャップを開ける前に、静電気除去シートや車の金属部分に触れ、静電気を除去してから給油を始めましょう。

☆正しい操作で給油を！

給油ノズルは、給油口の奥まで差し込み、レバーをしっかり握って給油を行いましょう。

☆注ぎ足し給油をしないで！

自動車等の燃料タンクが満タンになると、オートストップ(満量停止装置)が作動し、給油は自動的に停止します。オートストップ作動後の注ぎ足し給油は、ガソリン等の燃料が給油口の外に吹きこぼれることがあり危険ですので、注ぎ足し給油はやめましょう。



☆給油キャップの置き忘れ注意！

給油キャップをしめ忘れたまま走行すると、給油口からガソリン等の燃料や可燃性の蒸気が漏れるおそれがあり危険です。給油が終わったら給油キャップの置き忘れには注意しましょう。

消防ほっと写真館



【三連はしごを使用しての救出】

8/23 火災出場訓練



【ロープレスキュー資器材を活用しての降下訓練】

9/14 ロープレスキュー取扱訓練